

平成30年度全国学力・学習状況調査結果分析について

平成30年4月17日（火）に実施された全国学力・学習状況調査の結果について、校内で分析を行い、本校の優れた点や課題、今後の改善点について整理しましたので、その概要をお知らせいたします。

なお、この調査により測定できるのは学力の一部であり、学校教育活動の中では限られた部分でもあります。今後の教育活動の一助にしたいと考えております。

〈教科に関する調査からわかる西の原中学校生の特徴〉

(国語)

- ・基礎的・基本的な知識・技能が身に付いているかをみる「国語A」、基礎的・基本的知識・技能を活用することができるかをみる「国語B」ともに全国平均を上回りました。
- ・国語Aでは、全体的には全国平均を超えていますが、領域でいうと「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の本校正答率が、「言語についての知識・理解・技能」が他と比べるとやや低い結果となっています。授業の中で辞書を常に机の上に置いて活用するなどし、語彙を増やしていきたいと思えます。
- ・国語Bでは、全体的には全国平均を超えていますが、領域でいうと「書くこと」が全国平均を下回っています。また、問題形式でいうと「記述式」が全国平均を下回っており、今後の課題となっています。自分の考えを「書くこと」で整理させ、他の人の書いた文章を添削したり、評価したりするなど、様々な形で「書くこと」の活動を取り入れていきたいと思えます。

(数学)

- ・基礎的・基本的な知識・技能が身につけているかをみる「数学A」、知識・技能を活用することができるかをみる「数学B」ともに、全国平均を上回りました。
- ・「数学A」では、学習指導要領「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」4つの領域すべてで、全国平均を上回っています。「数学B」では、「数と式」、「図形」「関数」の3つの領域で全国平均を上回りました。特に「図形」の領域では、全国を大きく上回りました。一方で、「資料の活用」は全国を下回りました。与えられた情報から必要な情報を正しく選択し、的確に処理したり、不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、その判断理由を考察し表現することを苦手としています。不確定な事象についての観察や実験から確率を求め、それを判断や意志決定に活用する活動を積極的に取り入れていきたいと思えます。

(理科)

全体（対象問題数27問）の平均正答率は、県平均に届いているものの全国平均にはわずかに及ばない結果でした。本校の生徒は物理的領域、生物的領域の問題は全体的に高い基準にありますが、化学的領域、地学的領域の問題は県平均よりも低い基準となっています。本校生徒が特に苦手としている問題は主に3つあります。

- ・1つ目は質量パーセント濃度を問う問題（化学的領域）です。質量パーセント濃度の水

溶液の溶質と水の質量を計算で求めることが課題です。

- ・ 2つ目は台風の進路に関する問題（地学的領域）です。天気図と日常生活の場面とを関連付けて気象現象を捉えることが課題です。
- ・ 3つ目は、地震の知識を問う問題です。地震に関する知識を身に付け、この知識を防災や減災に生かすことが課題です。

一方、たいへん良くできている問題は神経系の働きを問う問題（生物的領域）です。正答率が大きく上回っていました。よって、計算問題の演習を増やすこと、そして実験や観察のない分野においても教材研究を行い、生徒が理解しやすい授業を心がけます。

〈質問紙調査からわかる西の原中学校生の特徴〉

- ・ 学校外の勉強時間については、平日1日あたり2時間以上（学習塾等の時間も含む）、勉強している本校の生徒の比率は全国平均と比較してかなり高い傾向であり、30分未満とほとんど勉強しない本校生徒の比率は全国平均より低い数値を示しています。昨年度の調査結果と比較しても家庭学習への取組が向上したことがわかります。今後とも学校と家庭との連携を大切に、学力向上に努めてまいりたいと思います。
- ・ 家で、学校の授業の予習と復習をしている本校の生徒の比率は全国平均大きく上まわっており、学習のサイクルが確立している生徒が多いことがわかります。今後、さらに多くの生徒が学習サイクルを確立するよう指導と支援についての工夫を図っていきます。

気になる点として、「自分には、よいところがあると思う」との本校生徒の比率が全国平均と県平均より低い数値を示していることです。自分の良さを認めることが「自己肯定感」、「自尊感情」、「自己有用感」、「自己有能感」の育成につながり、他者への思いやりの基盤となり、「いじめ」予防にも大きく寄与するものだと思います。日常の学校生活や授業、加えて、行事、部活動などで自分を好きだと思える瞬間を見つけられるような場の設定を積極的に創出し、自分の輝きを実感できるような支援をしていきたいと思っています。